

3 サケ年齢組成と体サイズ

独立行政法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所 さけます資源部

- 北海道では、1994 年以降でみた場合、4~5 年魚は前年並み、3 年魚は最も少なく、6 年魚は 2 番目に多い
- 本州太平洋では、1994 年以降で 3 年魚および 4 年魚が、それぞれ 2 番目、3 番目に少ないが、5 年魚は平均的な水準を上回る
- 本州日本海では、1994 年以降でみた場合、4 年魚および 3 年魚は平均的な水準、5 年魚は平均的な水準を下回り、2 年魚は最も多い
- 北海道の沿岸で漁獲されたサケの平均重量、主要河川に遡上したサケの平均尾叉長は、いずれも前年同期より大きい

・サケの年齢組成

(全国)

全国の主要な河川に回帰したサケの年齢査定途中経過をもとに、11 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、4 年魚 (2009 年級) は前年同期比 110.6%、5 年魚 (2008 年級) は前年同期比 107.7%となっています (図 1)。一方、3 年魚 (2010 年級) は前年同期比 70.1%であり、3 年魚としては 1994 年以降で最も少ない来遊数となっています。

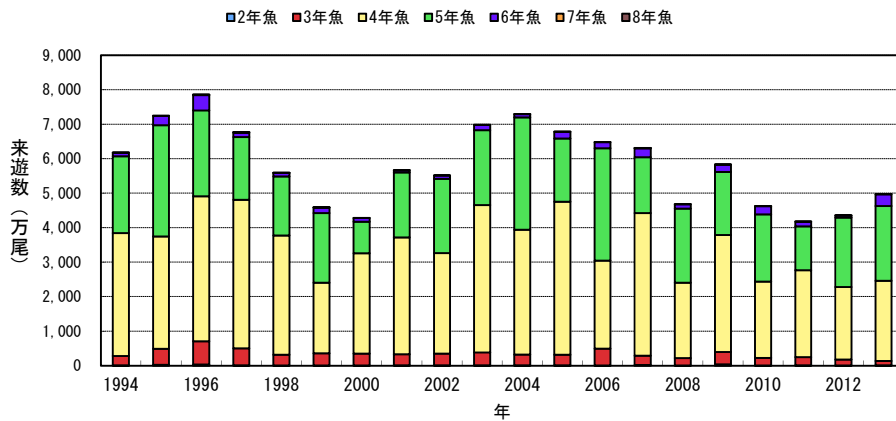


図 1. 11 月末時点のサケ年齢別来遊数 (全国)

(北海道)

来遊の主群を構成する 4 年魚 (2009 年級) および 5 年魚 (2008 年級) は、前年同期比がそれぞれ 108.1%、96.4%となっています。一方、3 年魚 (2010 年級) は前年同期比 75.3%

であり、1994年以降で最も少ない来遊数となっています。また、6年魚（2007年級）は前年同期比499.0%であり、1994年以降で2番目に多い来遊数となっています（図2）。

年級群（生まれ年）ごとの来遊数をみると、今年の4年魚である2009年級は、4年魚までの来遊数（2～4年魚の来遊数）で比べた場合、過去（1992年級以降）の平均的な来遊数を下回る水準となっています（図3）。

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、4年魚（2009年級）は前年同期比127.2%ですが、1994年以降の平均値の57.8%となっており、近年（1994年以降）のなかで3番目に少ない状況となっています。また、3年魚（2010年級）は前年同期比60.8%となっており、近年のなかで最も少ない状況となっています（図4）。日本海側（オホーツク海区及び日本海区）では、4年魚は前年同期比96.8%となっています。3年魚は近年では2番目に少ない状況となっている一方で、6年魚は最も高い水準となっています（図5）。

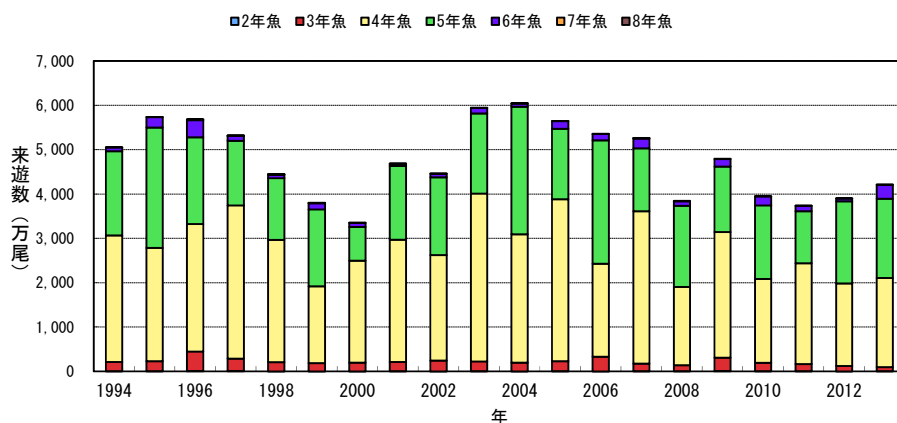


図2. 11月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道）

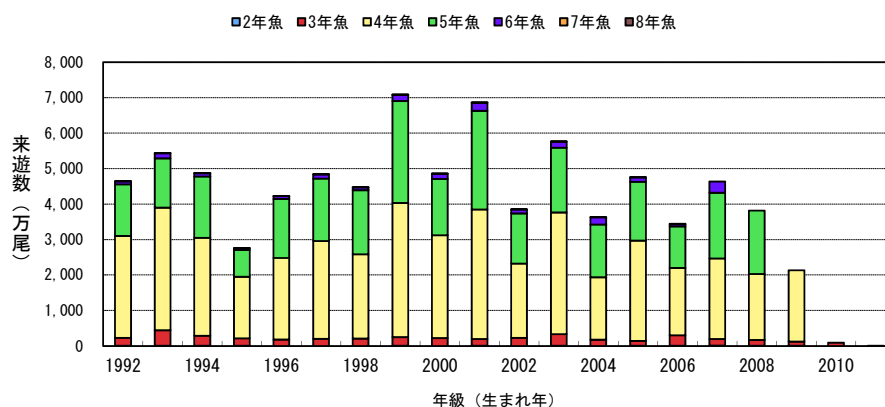


図3. 11月末時点のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（北海道）

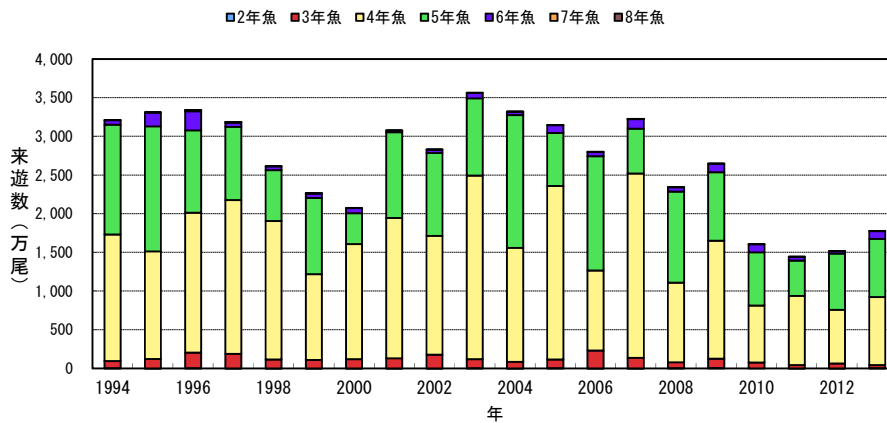


図 4. 11 月末時点のサケ年齢別来遊数 (北海道太平洋)

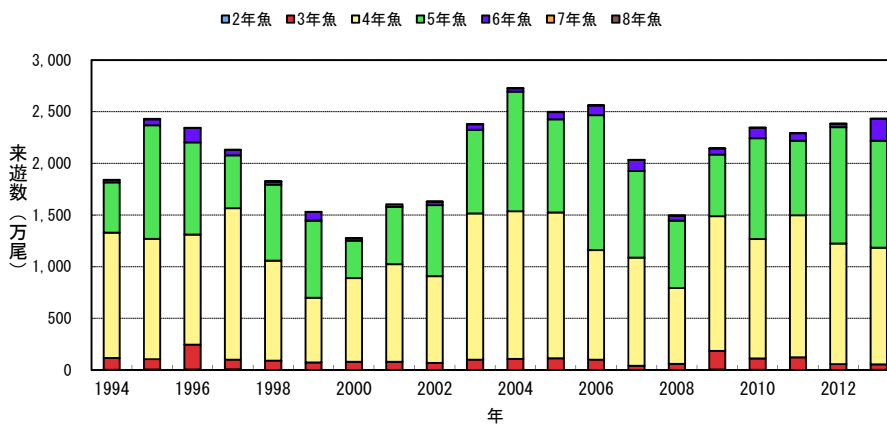


図 5. 11 月末時点のサケ年齢別来遊数 (北海道日本海)

(本州)

本州太平洋側では、4年魚(2009年級)が前年同期比124.6%ですが、1994年以降の平均値の48.5%となっており、近年(1994年以降)のなかで3番目に少ない状況です。一方、5年魚(2008年級)は、近年の平均的な来遊水準を上回る状況となっています。また、震災の影響を大きく受けたと考えられる3年魚(2010年級)は、前年同期比52.4%であり、近年では2番目に少ない状況です(図6)。本州日本海側では、4年魚(2009年級)および3年魚(2010年級)は近年の平均的な来遊水準ですが、5年魚(2008年級)は平均的水準を下回っています。また、2年魚(2011年級)は近年のなかで最も多くなっています(図7)。

年級群(生まれ年)ごとの来遊数をみると、今年の4年魚である2009年級は、4年魚までの来遊数(2~4年魚の来遊数)で比べた場合、太平洋側では過去(1992年級以降)3番目に少ない来遊数に相当します(図8)。それとは対照的に、日本海側では、過去の平均的な来遊数を上回っています(図9)。

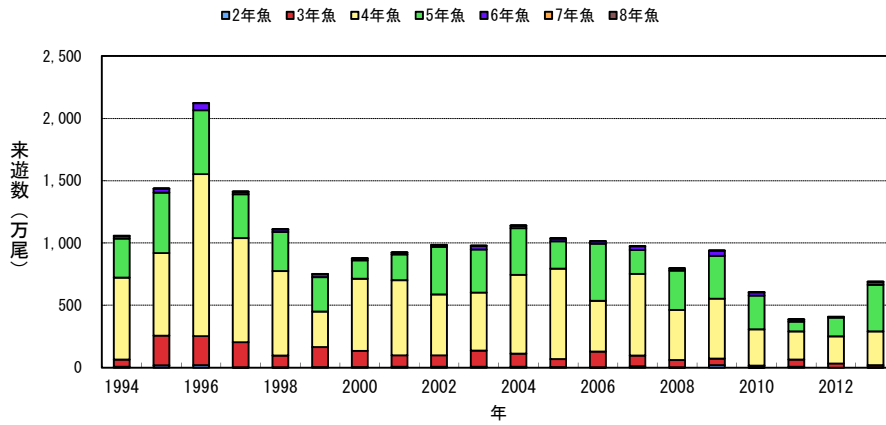


図6. 11月末時点のサケ年齢別来遊数 (本州太平洋)

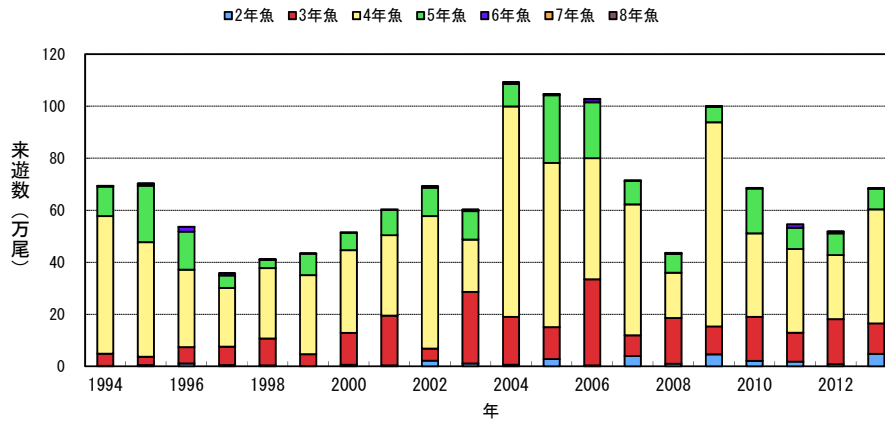


図7. 11月末時点のサケ年齢別来遊数 (本州日本海)

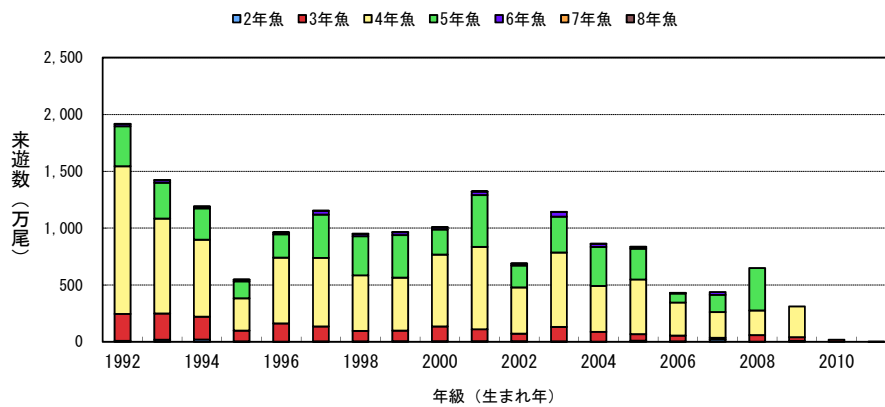


図8. 11月末時点のサケ年級群 (生まれ年) 別来遊数 (本州太平洋)

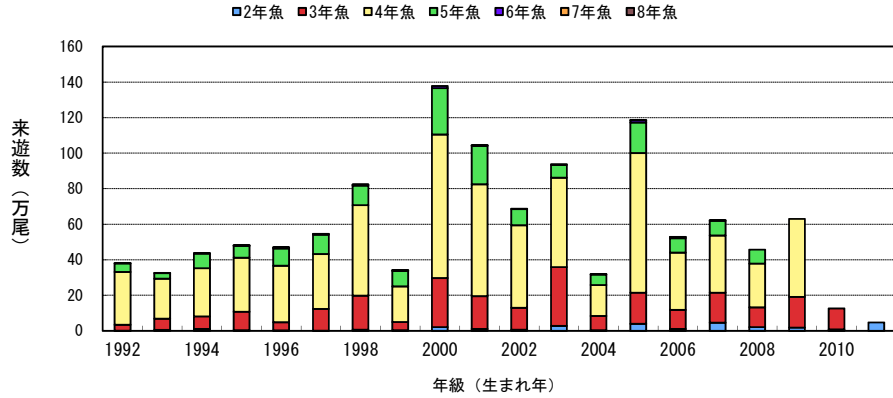


図9. 11月末時点のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（本州日本海）

・サケの体サイズ

北海道における11月30日現在のサケ1尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は3.35kgであり、これは前年同期比の108.1%に相当します。平成元(1989)年～平成24(2012)年の同時期（11月末時点）における平均重量を比較した場合、今年の体サイズは平成19（2007）年～平成20（2008）年に近い水準となっています（図10）。

北海道の主要河川で測定された4年魚の平均尾叉長は、いずれの河川とも平成以降で小さい水準であった昨年（平成24（2012）年）を上回っています（図11）。

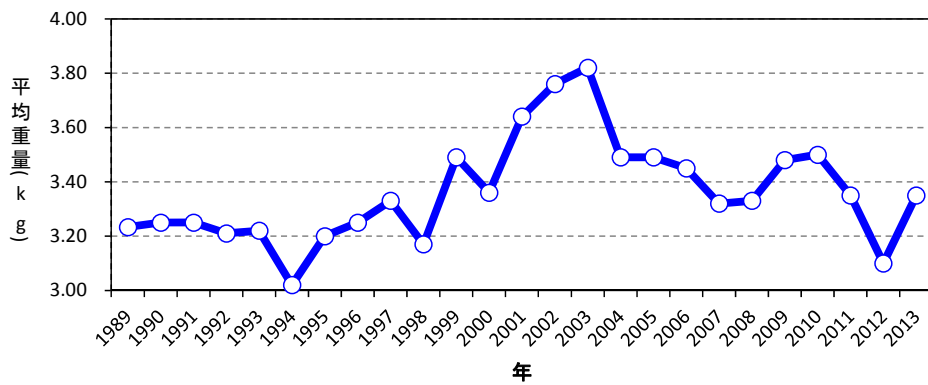


図10. 11月末時点のサケ平均重量（北海道）

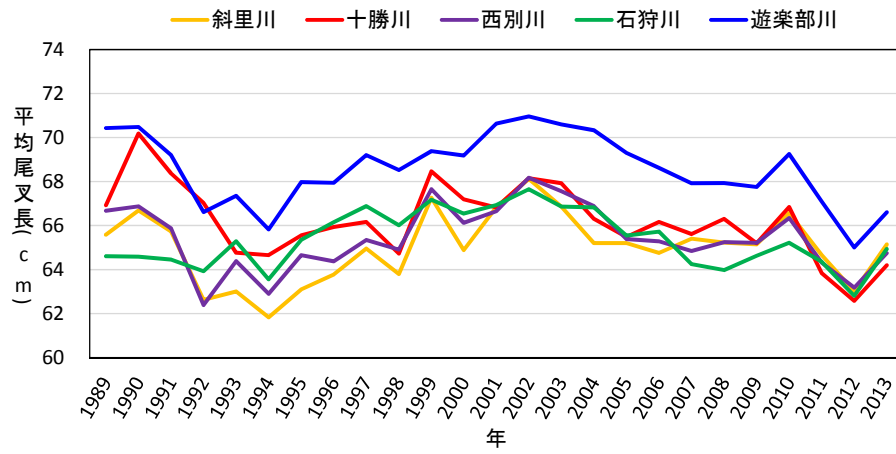


図 11. 北海道の主要河川における 11 月末時点のサケ 4 年魚（雌雄込み）の平均尾叉長